



奈川の人口	
令和元年7月1日現在	
総世帯数	329世帯
総人口	683人
男	321人
女	362人

発行 奈川公民館
 発行者 忠地愛男
 編集者 公民館編集委員会
 印刷 (株)プラルト

地域探訪

『入山と奈川渡ダムへ
行ってみよう』

6月17日に奈川公民館と奈川地区福祉ひろば共催の地域探訪が開催されました。

18名の参加者が入山地区の探訪と、奈川渡ダムの見学を行いました。入山地区探訪では入山地区在住の忠地義光さんが案内役となり、青木神社や松田屋、クラインガルテンを見学しました。

奈川渡ダムでは安曇発電所3号～6号を見学し、東京電力(株)梓川総合制御所職員より発電の仕組みやダムの役割について説明を受けました。参加者の一人は「入山地区の歴史を詳しく知ることができた。ダム見学では普段入ることのできない発電所の見学もでき貴重な体験になりました」と話していました。



奈川渡ダムを背にして



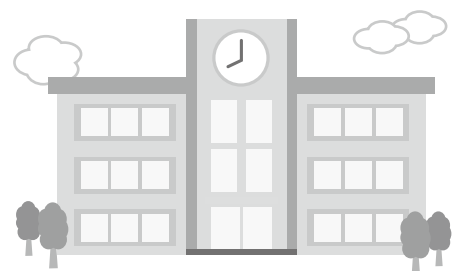
学校
コミュニティスクール



なかなかたくましいね、4年生

5月20日に奈川小中学校にて、第1回学校コミュニティスクール運営委員会が行われました。この委員会は、地域の人が平日頃から学校の運営に直接携わり、地域と学校が一体となって奈川の子ども達を育むものです。

春から一つ学年が上がり新学期にも慣れてきた頃の子ども達。そんな各学年の授業風景をまず参観しました。小学4年生は畑の作業へ。先生の指示を待つより先に、率先して手を出している姿は、土との親しみを生活の中に取り入れてきたことがうかがえ、たくましさを感じました。「み



5・6年生合同で音楽の授業

んなが頑張ってくれたおかげで、花豆の作付が無事終わりました」と担任の先生が嬉しそうに話してくれました。

今年度も学校と地域が一つとなつて、奈川の宝である子ども達が毎日笑顔で学校に通えるように、運営委員会は協力していきます。

第37回野麦峠まつり

5月26日、野麦峠まつり実行委員会主催の第37回野麦峠まつりが開催されました。

新緑の美しい緑を鮮やかに照らす青空の下、工女や歩荷に扮した奈川小中学校の子どもたちや先生方が、旧野麦街道13キロの道のりを歩きました。山行の終盤では、道中のお地藏様や頂上の乙女地藏尊に小菊を供えて手を合わせ工女たちへの敬意を表しました。



お地藏様に手を合わせます

松本からシャトルバスを利用された参加者も多く賑やかな山行となり、県境である野麦峠では地元奈川や岐阜、湯河原の特産品などのお店が並びまつりを盛り上げていました。また、美味しいウド汁や山菜おこわを食べ



歩荷さんに手を引かれて

ながら、語り部や太鼓演奏などの催しに耳を傾け、往時に思いを馳せていました。



高根の皆さんと一緒に！

ハーバリウムペン作り



5月13日、文化センター夢の森の放課後子ども教室でハーバリウムのボールペン作りが行われました。

普通はビンに入れて作るものですが、ボールペンの軸に小さなドライフラワーを入れて、オイルを充填する細かい作業です。子どもたちは小さな手で真剣に作っていました。出来上がるとみんなそれぞれ素敵なボールペンになりました。

花いっぱい運動

6月5日、デイサービス前にて奈川地区社会福祉協議会主催の花いっぱい運動が行われました。地元ボランティア団体の方々20名ほどが参加し施設周りの整備や、プランターの花植えを手際よくさ

れていました。伊藤恵造新会長は「こんなに大勢集まってくれて、奈川の人の結束力はすごいねえ」と感心しておられました。



野麦路



オリンピックの東京開催は私にとっては2度目です。

1度目は小学校の低学年の時、まだ家にテレビがない時代でしたが、これを機に我が家にもテレビが入りオリンピック観戦ができました。競技に関してあまり夢中になつた記憶はありませんが、何を一番覚えていたかといえば「東京五輪音頭」という三波春夫さんの歌です。祖母が三波さんが大好きで私もいつも一緒に聴いていました。今回また東京開催ということ、そういえばと思い調べてみたら、歌詞を今日まで間違えて覚えていたことが判明！「ハーリアアアアあの日ロームでエエ眺めた月が、今日は都の空照らす、4年経つたらまた会いましょうと、堅い約束夢じゃない……」

「あの日ロームで」を「あの広場で」と歌っていました。意味も分からずに歌っていたのですが、第1回東京五輪の前の開催国がロームだったんだと今更なることになりました。

(志水 陽子)